花・夢・あいさつで優しさいっぱい
増田小
中種子町立　増田小学校
２月号

粘り強くやり抜く心を育てる

校長　川邊　浩幸

北京冬季オリンピックでは、日本代表選手たちが連日めざましい活躍をしています。フィギュアスケートで捻挫をしながらも前人未踏の四回転アクセルに挑戦し続けた羽生選手、決して大技ではないけれど自分のできる技を磨きスピードや着氷など完成度を高め続けた坂本選手、持久力を徹底的に鍛えオールラウンダーとしてスピードスケートで五種目に出場し念願の金メダルも獲得した高木選手、強い相手に対しても最後まで諦めずにチームで作戦を練って励まし合い前向きにプレーしていたカーリング「ロコ・ソラーレ」の四人など、選手たちの頑張り続ける姿が私たちに大きな感動、元気や勇気を与えてくれています。夢や目標を叶えようとする強い思いと十二分な練習量がきっと自信や誇りとなっているのでしょう。

さて、本校でも日々、各教科の授業や特色である体育指導を通して、粘り強く取り組むことに力を入れています。「分からない」「できない」と簡単に諦めずに時間いっぱい考えて解いて無答をなくしたり、他の人と比べるのでなく昨日までの自分に打ち勝つ気持ちで取り組んだりするなど努力をさせています。その成果が、学力や体力の向上につながり、自立や協調の心もどんどん成長しているように思います。

本校では、今後とも「生きる力・生き抜く力」の育成に努めてまいります。今の子供たちが大人になる二〇三〇年頃の社会情勢を見据え、夢や希望をもって未来に立ち向かうための高い学力を育て、折れない心と健康な体をつくっていきます。そのために、ＩＣＴ活用やキャリア教育、読書指導も推進していきます。家庭・地域・他校種・関係機関等との連携も強化し、知・徳・体のバランスのとれた教育を一層進めていります。今後とも皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

最後に、羽生選手がこれまでに語った言葉の中から、私が心に残っているものをいくつか紹介します。

「なるほど」と感心させられたり、見方や考え方が参考になったりしたものがありました。

○「一番努力した者が、必ず一番の結果を出せるものではありません。しかし、努力しなければ、結果は決して残すことはできません。」

○「失敗があればあるほど悔しい気持ちがあって、それが成長につながると思っているので、別に切り替えなくていい。悔しい気持ちがあるから、明日ワクワクできる。」

○「勝ち負けよりも、どれだけ成長できるか、どんな経験ができるかなのので。」

○「努力はウソをつく。でも、無駄にはならない。『努力の正解』を見つけることが大切。」

○「できるときにできることを精一杯やる。できないときは、そのときにできることをやる。」

（著書『羽生結弦の言葉』より）

「租税教室」で学んだよ

１月１７日に，６年生を対象にした「租税教室」がありました。町役場税務課から２名の方が来校され，税金の大切さや使われ方を講話やDVDで御指導くださいました。最後に，１億円の実物大レプリカに触れた子供たちは，驚きでいっぱいの様子でした。

「あったかさんタイム」で友達のことを考えたよ

「〇〇さんのイメージカラーは何色かな。」朝の活動「あったかさんタイム」での子供のつぶやきです。

本校では、令和二・三年度と、熊毛地区の道徳教育研究協力校として「自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成」に取り組んできました。道徳科の授業以外にも、「親切・思いやり」の心を育む活動の一環として、昨年度から朝の活動で、このような「自己・他者理解を深める取組」を続けています。

「〇〇さんは、私が困った時にいつも優しく励ましてくれるから、ピンクだと思う。」と理由を言ってから、相手にピンク色のカードを渡します。もらった子は「有難う。じゃあ私は。」と言いながら、逆に色と理由を説明して、その友達に自分の考えた色カードを渡しています。

自分や友達のことをもっと知り、温かい気持ちになってほしいという願いで設定した「色育」ですが、今ではすっかり定着し、「あったかさんタイム」は子供たちの笑顔を増やす絶好の場となっています。

「こんなお風呂あったらいいな」図画展

○最優秀賞（中学年の部）
四年　南　実央

○入選
二年　上妻　恵実
二年　中嶋　希葉

頑張ったね！

入賞おめでとう

「ふるさとの風景画」作品展

○教育長賞
五年　織部　早希

○優秀賞
三年　盛田　大智
四年　遠藤　啓眞
五年　小谷　幹太
六年　松元　有希

○入選
三年　中﨑　結夏
三年　横山　菜々子
四年　宇都　紗耶花
四年　中﨑　虹心
五年　宮脇　海翔

みんながんばったよ！ 学習発表会
～ １月２１日（金）～

☆１年生から６年生まで，それぞれの学年のカラーを大切にし，一人一人が輝く発表会でした。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため，今年の学習発表会も規模を縮小して行いました。御多用の中，保護者そして祖父母の皆様方が多数お越しくださり，子供たちの学習の成果の発表を，温かく見守ってくださいました。
１，２年生は「名文や詩の暗唱と歌唱」でした。「すごく緊張したけど，最後まで大きな声で発表できました。」という２年生の日記にあるとおり，明るく笑顔満開で発表することができました。会場からは大きな拍手が送られました。
３・４年生は，本やタブレットで調べた，地球問題と１００年後の地球についての「ＳＤＧｓ」。自分たちにできる具体的な取組を，パワーポイントやダンスで発表しました。１２人で協力して，素敵な発表ができました。
最後に５・６年生は，総合的な学習で学んだ種子島の郷土芸能の中から，「二十番集落の棒踊り」と，日本一のラジオ体操を披露しました。本番までに，二十番集落の岩﨑さんと三原さんに御指導いただいた，足の運びや腰の高さ等に気を付けながら，元気よく踊ることができました。ますます，ふるさと増田への理解と愛が育まれました。
御協力いただいた方々，御来校くださった皆様，どうも有難うございました。

写真左から
１，２年生
３・４年生
５・６年生

南日本新聞「子供のうた」二月十八日に掲載されました

くものす　きれい
二年　中嶋　希葉

学校がおわって
学どうに行くとちゅう
小さなくものすをみつけた
雨にぬれて
ひかりがあたって
にじみたい
きれいだな
すごいな
ずっとずっと
見ていたいな

2月のリモート会議・オンライン授業

新型コロナウイルス感染防止のため，体育館で行われる予定の児童集会や出前授業「協力隊ＯＢと留学生が先生」，職員の会議や研修，臨時休業中の授業等もリモートで行いました。「学びを止めるな」の精神で頑張っています。

2月のあったかさん

「毎日、おいしい給食を有難うございます。」子供たちは、いつも朝から「今日の給食は○○だよ。」と、献立表を確認しては、得意気に教えてくれます。
二月十日は、子供たちや職員に、元気とやる気の源である給食を届けてくださっている給食センターの皆様に、感謝の気持ちを込めて、保健・給食委員会の子供たちから感謝状を贈りました。毎日、様々な地元食材で多様な献立を考案し作ってくださる皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです。お陰様で残食はありません。
これからも、子供たちの健やかな成長のためによろしくお願いいたします。

【　３月行事予定　】

３日（木）なわとび大会・ＰＴＡ総会・家庭教育学級閉講式・学級ＰＴＡ
４日（金）お別れ遠足・お別れ集会
１０日（木）卒業式準備（３～５年）
★この日から４／１５まで，体育館開放を中止とします。
１２日（土）土曜授業
１６日（水）卒業式予行
２４日（木）第７５回卒業式
２５日（金）修了式・離任式
２６日（土）春季休業～４／５

保健目標　「１年間の健康生活をふり返ろう。」
生活目標　「１年間の反省をしよう。」